

第61回



品質月間

2020年11月1日～11月30日

テーマ

●みんなでつくろう 新たな価値と 変化に負けない組織力

Let us create new values and resilient organizational capabilities

品質月間(Quality Month)を迎えて

今の社会を見ると、様々な変化にさらされ、その変化に対応して生活や仕事のやり方を変えていくことが求められています。ニーズの多様化に伴い、新たな製品・サービスの提供とそのための技術開発が求められていますし、分業化やグローバル化に伴い、組織・地域・国を越えた連携が求められています。安全・安心に対する関心が高まり、未然防止に取り組むことが急務になるとともに、情報技術の進展を見据えたビジネスモデルの革新が必要となっています。また、人材の育成や働き方改革が課題となり、組織が社会の一員として役割・責任を果たすことが求められています。

このような変化の中で組織が持続的に発展していくためには、変化に対応できる、変化を生み出せる組織力の獲得・向上が必要です。しかし、いろいろな考え方・価値観を持つ多くの人が働く組織では、これは容易なことではありません。品質管理は、お客様、さらには広く社会のことを第一に考え、新たな価値を生み出すために、トップから第一線の従業員まで、開発・製造・営業・サービス・間接などのあらゆる部門が、全員参加で、自分の仕事のやり方を改善・管理する活動です。変化の激しい時代だからこそ、その考え方や方法をうまく活用し、変化に対してダイナミックに変わっていきける組織・社会をつくっていくことが大切だと思います。

品質月間が「みんなでつくろう 新たな価値と 変化に負けない組織力」を合い言葉に、多くの人・組織が思いを一つにして品質管理に取り組む契機となることを願っています。

第61回品質月間委員会

委員長 中條武志(中央大学 理工学部 経営システム工学科 教授)

品質月間委員会

委員長

中條 武志 中央大学 理工学部 経営システム工学科 教授

副委員長

今野 勤 神戸学院大学 経営学部 経営学科 教授
酒井 和憲 株式会社東陽テクニカ 顧問

委員

相田 昇 株式会社LIXIL 品質・EHS本部 品質保証統括部 品質マネジメント部 品質企画 G GL
足立 研二 NEC プラットフォームズ株式会社 品質推進本部 品質推進統括部 統括部長
石津 昌平 青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授
伊藤 桂一 株式会社日立製作所 モノづくり戦略本部 主任技師

熊井 秀俊 株式会社リコー Customer First センター Customer First 企画室 シニアエキスパート
佐々波 直人 キューピー株式会社 品質保証本部 総務企画チーム 担当課長
島 健治 花王株式会社 品質保証部門 企画・業務推進グループ 部長
鈴木 直人 日野自動車株式会社 TQM推進部 主査
高橋 純一 JSR株式会社 執行役員 / 製品・品質保証部 部長
永井 一志 玉川大学 経営学部 国際経営学科 教授
新倉 健一 前田建設工業株式会社 総合企画部 グループ長
森田 晶彦 株式会社IHl 技術開発本部 技術研修所 主査
山腰 克也 株式会社日本経済新聞社 編集局 日経産業新聞編集長
吉水 敬三 株式会社竹中工務店 TQM推進部 部長

主催団体 委員

岩崎 浩平 日本商工会議所 事業部長
下境 健一 (一財)日本規格協会 理事
中島 宣彦 (一財)日本科学技術連盟 専務理事・事務局長

後援団体 委員

田中 大輔 (一財)日本消費者協会 教育啓発部 部長
柳本 直行 (公財)日本生産性本部 生産性研究・国際連携・経営品質担当 / 統括本部 広報・PR 戦略部長

(敬称略 五十音順 ※但し、委員長、副委員長除く)

■主催

品質月間委員会 一般財団法人 日本科学技術連盟
日本商工会議所 一般財団法人 日本規格協会

■後援

NHK 一般社団法人 日本品質管理学会 公益財団法人 日本生産性本部
一般社団法人 日本能率協会 一般財団法人 日本消費者協会 QC サークル本部
一般社団法人 日本経済団体連合会 一般社団法人 品質工学会

品質月間ホームページ (<http://q-month.jp/>) もご参照下さい

61回目の品質月間がやってきます。 各社で工夫されて効果的な品質月間を 実施してください。

各社で行う品質月間行事（一例）

- 品質の総点検
- 社内パンフレットなどの作成・配布
- 品質月間特別講演会、クオリティフォーラムなどへの参加
- Q旗の掲揚、品質月間ポスター・標語の掲示
- 社内報を品質管理(TQM)特集号とする
- 内部監査や社長などによるTQM診断の実施
- 論文などの募集・選考
- 社内の品質管理(TQM)大会の開催、関連する表彰式の実施
- 品質月間テキストなどの購入・配布
- TQMの観点からみたトップへの働きかけなど

ポスター

- (多色刷)
- 全社的に各職場に掲示してください
 - 大きさ：72.5cm × 50cm
 - 定価：各種(AまたはB)1枚…… 300円(税抜)
1セット(2枚1組)…… 500円(税抜)

2種類のポスターより1種類1枚からご購入が可能です。
2種類1組のセット販売も行っております。

【ポスター20セットご購入特典】

第61回品質月間では、1回のご注文でポスター20セット(2枚1組)をご購入いただきましたお客様に(ペーパースタンド 1組)・(ポスターデザイン入りクリアファイル 2枚1セット)をプレゼント!

※ペーパースタンドは縦22.5cm、横18cm程度の大きさとなります。

[ペーパースタンドイメージ写真]



(A)



(B)



社名入りポスター

- 社名入り品質月間ポスターを受け付けております。
- 社名入りポスターを活用して活気ある月間運動を!!
- お受けする枚数：1点500枚以上
- お申込受付期間：2020年9月30日迄
- 定 価：1点1枚…… 250円(税抜) ※バラ売りです
- 別途印刷費(税抜・送料込み)

500～1,000枚	一律	…… 40,000円
1,001～2,000枚	//	…… 45,000円
2,001～3,000枚	//	…… 50,000円
3,001～4,000枚	//	…… 55,000円

胸章

(2色刷)

- 全社員の胸にみんなの合言葉を!
- 大きさ：直径5cm
- 定 価：10個1組(袋)…… 460円(税抜)
50個1組(袋)…… 2,200円(税抜)



*廃棄については各自治体の“決まり”をご確認ください。市販の安全ピン、抗菌配合のノンフタル酸塩化ビニールフィルムを使用しています。

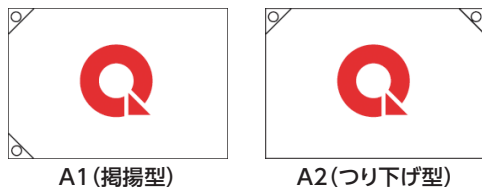
卓上のぼり

- 受付やデスク周りに気軽に設置できます。
- 大きさ：幅12cm×高さ(台座まで)36cm
- 定 価：2,000円(税抜)



Q 旗

- 生産意欲を一つに結ぶ目印です。
各事業所、職場に掲揚してください。

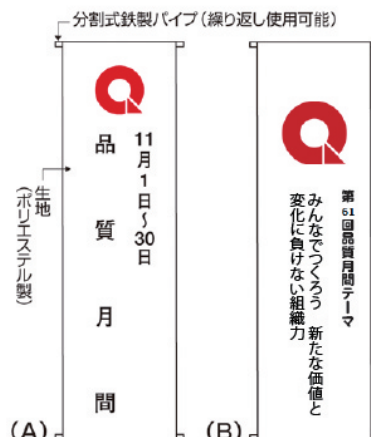


Q旗の種類	大きさ	定価
A1 (掲揚型)	105cm×155cm	2,000円(税抜)
A2 (つり下げ型)	105cm×155cm	2,000円(税抜)
B (掲揚型)	90cm×130cm	1,800円(税抜)
特大 (掲揚型)	140cm×210cm	3,500円(税抜)

垂幕

- 各事業所に掲揚してください。
大きさ：A・Bとも255cm×92cm

垂幕種類	定価
Aセット(鉄製パイプ+生地)	3,700円(税抜)
Bセット(鉄製パイプ+生地)	3,700円(税抜)
垂幕生地A	2,200円(税抜)
垂幕生地B	2,200円(税抜)
垂幕用鉄製パイプ	1,500円(税抜)



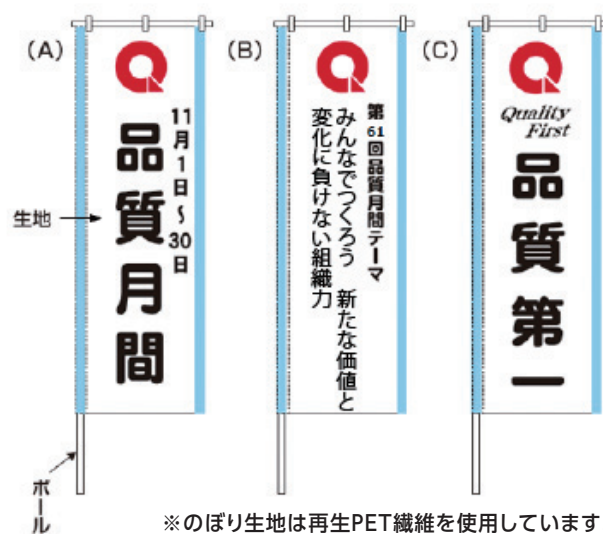
のぼり

- 各事業所に設置してください。
種類：A(品質月間タイプ)
B(月間テーマタイプ)
C(品質第一タイプ)
- のぼり生地 大きさ：A・B・Cとも 60cm×180cm



ポール
材質 パイプ：PE被膜鋼管
部品ジョイント：ABS
キャップ：ポリプロピレン
横棒：FRP 85cm(4×7×850mm)
大きさ：2段伸縮、全長3m、伸縮長1.61m
焼却処分時ダイオキシンを発生させない樹脂使用
日本製

のぼり種類	定価
Aセット(生地+ポール+注水台[置き台])	6,000円(税抜)
Bセット(生地+ポール+注水台[置き台])	6,000円(税抜)
Cセット(生地+ポール+注水台[置き台])	6,000円(税抜)
のぼり生地A	1,500円(税抜)
のぼり生地B	1,500円(税抜)
のぼり生地C	1,500円(税抜)
のぼり用ポール	1,000円(税抜)
のぼり用注水台[置き台]	3,500円(税抜)



※のぼり生地は再生PET繊維を使用しています。



注水台 [置き台]
材質：ポリエチレン製
色：アイボリー
大きさ：40cm角×高さ15cm
タンク容量：17リットル
適応パイプ径：20φmm～30φmm
中国製

標語

- 全社的に各職場に掲示してください。
- 大きさ：12cm×37.5cm
- 定価：5枚1組・・・260円(税抜)



※垂幕(生地・鉄製パイプ)、のぼり(生地・ポール・注水台)は単品個別販売を行っております。

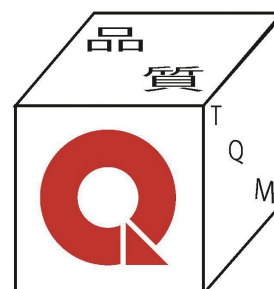
※各商品のデザインは若干修正される場合がございます。

※数量に限りがございますためご注文はお早めをお願いいたします。

第60回品質月間記念商品 品質サイコロ

※昨年の第60回品質月間を記念した特別商品です。

- ご自分で切って組み立ててください。
- 大きさ：4.1cm×4.1cm
- 定価：200円(税抜)



品質月間テキスト

●7種・A5判/各 定価500円(税抜)

●テキスト1セット(7冊)のセット販売をいたします。[1セット定価:3,000円(税抜)]

第61回目を迎える品質月間では、次の7冊の品質月間テキストを販売いたします。

仕事に役立つ知識や事例がたくさん詰まっています。是非、皆様のスキルアップの一環として、あるいは品質活動に関する教材として品質月間テキストをご活用ください。

No.	対象	テキストタイトルと主な内容	編著者
443	トップ	1.「産業競争力を高める品質経営」 日本製品は高品質の代名詞となり、日本の高度成長を支えました。バブル経済の崩壊以降、多くの環境変化への対応に追われた日本企業の多くが品質を既得のモノとして経営の主眼から逸らしてしまいました。お客様のニーズの変化に対応できず近年の産業国際競争力の低下や品質不祥事を招いたと考えられます。品質を経営の主要事項として位置づけ、厳しい経営環境を乗り切っているエクセレントカンパニーの品質経営に学ぶことが産業競争力復興の鍵です。	一般財団法人日本科学技術連盟 理事長/ トヨタ自動車株式会社 元副社長 佐々木 真一 著
444	部課長 スタッフ	2.「組織能力の向上によるビジョン経営の実践」 トヨタ自動車九州は、トヨタ自動車100%出資の子会社であり、トヨタの高級車ブランドであるレクサスのクルマづくりを担っています。その中で、CASEやMaaSを代表とする自動車業界の大きな環境変化やトヨタ自動車のバーチャルカンパニー移行により、「レクサス・インターナショナル・カンパニー」の一員に位置づけられるという役割変化があったために、ビジョン2030を策定し、それを達成するための戦略テーマを設定し、取り組んでいます。この取り組みにおいて、組織能力の定義と組織能力向上のための仕組みづくりを行いました。そして、TQMの実践により、組織能力の向上を図って戦略テーマを効果的、効率的に実行できるよう取り組んできましたので、ご紹介します。	トヨタ自動車九州株式会社 TQM推進室 主査 中村 聡 著
445	部課長 スタッフ	3.「SDGsへの取り組みと品質経営 ～リコー三愛精神とTQMを礎にしたSDGsの展開～」 「誰一人取り残さない世界」を目指し世界でSDGsを見据えた活動が急速に進んでいます。リコーグループでも、SDGs推進やTQM推進に携わる人々は「どう進めたらいいのかわからない」「何をしたらいいのかわからない」と悩み考えながら進めてまいりました。本テキストではこの取り組みの紹介を通じて、SDGsをどのように捉え企業活動に繋げているかと、そこではTQM(品質経営)の考え方を進め方が極めて有効であることをお伝えし、皆様のSDGsに向けた全社一丸の活動に役立てていただくことを目指します。	株式会社リコー 品質技術本部 本部長、 Customer Firstセンター 所長 太田 謙治 著
446	部課長 スタッフ	4.「データサイエンスと品質管理」 製造業は今、大きなデジタル変革期にあります。高齢化・人材不足といった課題を解決しながら、新たな付加価値ある製品・サービスを創出するために、デジタル技術を積極的に活用したものづくりのインテリジェント化が必要です。本テキストでは、製造業の変革を後押しするデジタル技術について、デジタルツイン・IoT・AI・仮想現実といった主要技術と業務プロセスへの適用範囲、デジタル化によって業務がどう変わるのかを適用例を用いて解説します。また、これまでの日本におけるIT導入のあり方を再考し、今後のデジタル技術導入における方法論を紹介いたします。	株式会社デンソー 品質管理部 TQM推進室 担当次長 吉野 睦 著
447	部課長 スタッフ	5.「顧客に密着し、新たな価値を創造する方法論」 企業・組織は、顧客(や社会)が望み、期待する価値を創造し、提供しています。特に顧客の潜在ニーズに着目し、新たな価値を創造・提供することは、企業の持続的な成長に大きく影響します。但し、潜在ニーズは顧客自身も不明瞭であり、新たな価値を創造するためには、顧客に密着し、顧客の望み(問題・課題)や期待(願望)を仮説として段階的に明確にし、その仮説を顧客と共に検証しながら、解決手段を創り出すことが必要です。本テキストでは、新たな価値を創造するための考え方・方法について、実践例を交えて解説します。	和光大学 経済経営学部 経営学科 教授 丸山 一彦 著
448	一般	6.「日常管理の基本」 最近の不祥事・事故等を見ると、ルールを決めて守る、異常(通常と異なる事象)を見つけて職場の全員で共有し、その原因を追究して再発防止を図るという日常管理の基本が徹底できていないことが背景にあるように思われます。日常管理とは何か、SDCAサイクル、標準化と標準、管理項目と管理水準などの基本となる考え方、日常管理の具体的な進め方についてわかりやすく解説するとともに、先進企業における実践例を紹介いたします。	中央大学 理工学部 経営システム工学科 教授 中條 武志 著
449	一般	7.「SQCセミナーの物語」 本テキストでは、SQCセミナーにまつわる物語が展開されます。有能だけれどもSQCをほとんど知らない技術者がSQC研修業務を命じられ、SQCセミナーを体験しながら社内のSQC研修制度を構築・改革していくというストーリーです。 SQCを用いた地道な活動が企業や人々の底力をつけるのに必要です。「なぜ、いまさらSQCなのか？」ではなく、「いまこそ、SQCを！」を強調したいです。この物語を楽しんでいただき、「元気のでるSQC」を目指していただければと思います。	早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科 教授 永田 靖 著

※テキストのタイトル・編著者など一部が変更になる場合もございますので予めご了承ください。

お申し込み方法はJSA Webdeskをご覧ください。

1

JSA Webdeskを開く (<https://webdesk.jsa.or.jp>)

(「JSA Webdesk」でインターネット検索!)



2

書籍の画像が目印!

「規格・書籍・物品」のアイコンを
クリック!



3

次の画面で「品質月間」のアイコン
をクリック!

クリック後は画面の案内に従い、
お申込みください。

Webdeskからのご注文を優先して発送いたします!

- ・FAXでご注文いただくよりも、納期が早い!
- ・来年度以降、ご予約開始時期をメールでご案内!
- ・「ご注文の確認メール」が届いて安心!

(従来通りFAXでご注文される方も、上記の画面にお進みください。WebサイトからFAX注文書をダウンロードいただけます。)

品質月間特別講演会

講演概要

- コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度はzoomによるオンラインで開催いたします。
- PC、タブレット、スマートフォンからご参加いただけます。
- 日程、講演内容は準備でき次第、順次品質月間サイトへ掲載予定です。
(詳しくは月間サイトへ <http://www.q-month.jp/lecture/>)

参加申込要領

【参加料】 1講演 ¥1,500(税抜)

品質月間テキストの料金は含みません。テキスト購入サイトよりご購入ください。

【申込方法】

JSA Webdesk からお申込みください。

トップページ (<https://webdesk.jsa.or.jp>)
⇒セミナー・説明会⇒公開セミナー
または、「日本規格協会 セミナー」で検索

FAX でのお申込みの場合は、上記より申込書をダウンロードしてご使用ください。

お申込みいただいた方には、受講のご案内(請求書、開催案内等)を原則開講1か月前にお送りいたします。請求書受領後請求書に記載の期日までにお振り込みをお願いいたします。
定員になり次第、お申込みを締め切らせていただきます。
詳細はウェブサイトをご覧ください。

【キャンセルの取り扱いとお願い】

キャンセルの場合は開催1週間前までに Webdesk「お問い合わせフォーム」によりご連絡をお願いいたします。ご欠席の場合は返金をいたしませんので、代理の方のご出席をお薦めいたします。なお、キャンセル・ポリシーは以下の通りです。

- キャンセル・ポリシー
教材受領後のキャンセルは一切受け付けません。
受講料全額(100%)のキャンセル料を申し受けます。

【ライブ配信について】

ライブ配信 セミナーでは、Zoom Web 会議サービスを利用いたします。

<動作環境>

受講用パソコン及びモバイルの動作環境については、Zoom の最新のシステム要件をご確認ください。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>

受講前にこちらをご確認ください。

https://webdesk.jsa.or.jp/pdf/seminar/kensyu_kaijyo/live1.pdf